

とつきよの教育

第97号
中学校版
平成24年4月



東京都教育委員会

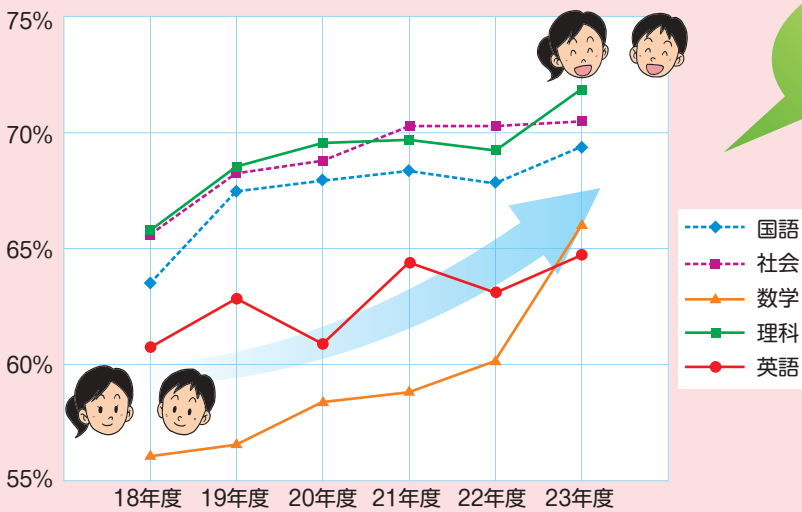
ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>

東京都教育委員会(教育庁)では、都民の皆さまからの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お寄せください。

子供たち、毎日楽しく授業を受けていますか？

東京都教育委員会では、平成23年7月5日に、都内公立中学校2年生（現在の中学校3年生）を対象とした「平成23年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施しました。この調査から明らかになった、東京の子供たちの生活と学力との関係をご紹介します。

授業が「楽しい・少し楽しい」と回答した生徒の割合



調査では、授業が「楽しい・少し楽しい」と回答した生徒の割合が、この6年間でどの教科でも上昇してきました！

平均正答率(5教科平均)

授業が楽しい	62.3%
少し楽しい	58.4%
あまり楽しくない	54.0%
楽しくない	47.7%

調査を実施した5教科全てで、授業が「楽しい・少し楽しい」と回答した生徒の平均正答率は、「あまり楽しくない・楽しくない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっています。



さあ、4月からは新学年！楽しく充実した学校生活にするために・・・

調査結果から、学校の授業を楽しんでいる、また、基本的な生活習慣や学習習慣が身に付いている生徒ほど、平均正答率が高い傾向にあることが分かります。

また、基本的な生活習慣や学習習慣が身に付いている生徒の割合は、昨年度よりも増加してきました。

新学期からの生活習慣・学習習慣を見直して、楽しく充実した1年間を過ごし、確かな学力を身に付けましょう。

家庭では

■ 学校へ行く前に、朝食を食べましょう！

登校前に朝食を「必ず食べる」「たいてい食べる」と回答した生徒は、「食べないことが多い」「食べない」と回答した生徒よりも平均正答率が高くなっています。



■ 身の回りのことを、自分でできるようにしましょう！

身の回りのことはできるだけ自分で行うと「している」「たいていしている」と回答した生徒は、「しないことが多い」「しない」と回答した生徒よりも平均正答率が高くなっています。



学校では

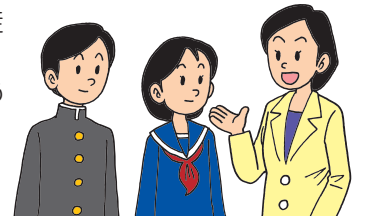
■ 授業をきちんと聞きましょう！

授業中に私語が少なく落ち着いている学校の生徒は、落ち着きがない学校の生徒よりも平均正答率が高くなっています。



■ 学校のきまりを守りましょう！

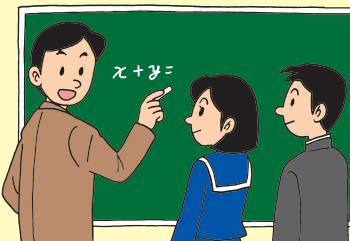
学校のきまりを「守っている」「どちらかといえば守っている」と回答した生徒は、「どちらかといえば守っていない」「守っていない」と回答した生徒よりも平均正答率が高くなっています。



ご家庭でも、子供たちの生活習慣・学習習慣の確立にご協力ください。

東京都教育委員会では、子供たち一人一人の学力向上のために、今回の調査をもとに中学校の授業改善の取組を進めています。

- ◆ 学習でつまずきやすい点の繰り返し指導や、習熟の程度に応じた指導を充実させます。
- ◆ 観察・実験、作図・計算、資料の活用など、子供たちの基本的な技能の習熟に取り組めます。
- ◆ 子供たちの思考力・判断力・表現力等を育てる授業の充実を図ります。
- ◆ 様々な資料から必要な情報を読み取り、比較・関連付けて読み解く力を育てます。
- ◆ きちんと話を聞く、おしゃべりをしないなど、授業規律を確立させます。



このパンフレットの内容を音声で聞くことができます。

この印刷物には、視覚に障害のある方への情報提供の手段として、音声コードを添付しています。
音声コードは、活字文書読上げ装置で読み上げることができます。



平成24年度 東京都教

東京都教育委員会は、平成20年5月、「東京都教育ビジョン(第2次)」を策定しました。このビジョンの中で、社会全体で子供の教育に取り組むことや子供たちの「生きる力」を育むことなど、東京都が目指すこれからの教育を実現するため、今後、中期的に取り組むべき教育の方向性を示しています。

「東京都教育ビジョン(第2次)」の三つの視点に基づいて、東京都教育委員会が平成24年度に実施する主な事業の中から、小・中学校に関連した事業をご紹介します。

● 視点1 家庭や地域の教育力向上を支援する

■ 学校と家庭の連携推進事業

いじめ・不登校・暴力行為など、学校生活において課題の見られる児童・生徒やその保護者を支援するため、地域人材(民生・児童委員、保護司等)を活用した「家庭と子供の支援員」を配置する小・中学校を増やします。また、引き続き、支援員で対応困難な場合に専門的な助言を行う、スーパーバイザーも配置します。

■ 学校支援ボランティア推進協議会の設置促進

地域全体で学校教育を支援する体制をつくるため、学校支援ボランティア推進協議会の設置や、コーディネーターの配置を行う区市町村を支援します。



● 視点2 教育の質の向上・教育環境の整備を推進する

■ 若手教員の育成

新規採用時から採用3年目までの教員を対象とした、若手教員育成研修を実施して、東京都の教員として求められる力量を育成します。また、小学校の新規採用教員の育成を図るため、経験豊かな再任用(短時間)教員と二人で学級担任を担う体制を確保します。

■ 都立高校改革の新たな展開 **Pick UP!**

- ・学校の設置目的に応じた修得すべき学力水準(都立高校学力スタンダード)を定め、卒業までに確実に身に付けさせます。
- ・理数フロンティア校を指定し、都立高校の理数教育の充実についての教育実践モデルを開発します。
- ・都立高校の生活指導統一基準を設定し、生活指導を徹底します。
- ・都立高校生の「社会的・職業的自立」を支える教育プログラムを開発するとともに、都立高校中途退学者等に「学ぶこと」「働くこと」への意欲を喚起し、再チャレンジを支援するための仕組みをつくります。
- ・都立高校生の留学や海外教育機関での学習等を支援し、国内外における得がたい体験を通じて、世界で活躍しようというチャレンジ精神やリーダーとしての資質・能力を育てる「次世代リーダー育成道場」を創設します。



Pick UP!

新たな「都立高校改革推進計画」を策定しました!

教育基本法の改正
学習指導要領の改訂
社会状況の変化

都立高校の抱える課題(生徒の学力、
体力、規範意識、職業的自立意識
教員の資質・能力や学校の経営体制など)

真に社会人として自立した人間を育成するため、
生徒一人一人の潜在能力を顕在化し伸ばす
教育の実践を基本的な考え方とする、
新たな都立高校改革推進計画を策定しました。

新たな都立高校改革推進計画：5つの目標

目標Ⅰ 社会的自立の基盤となる力の確立

自立に必要な知・徳・体を育成し、都立高校卒業時までに、社会人として必要な力を着実に身に付けさせます。

目標Ⅱ 変化する社会の中での次代を担う人間の育成

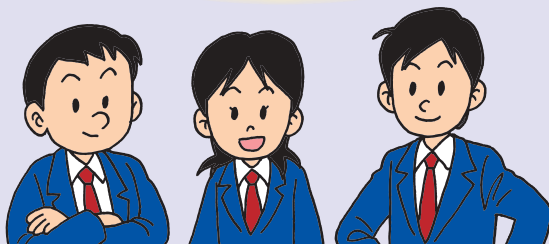
現在の日本社会が直面する様々な課題の中で、職業的自立に必要な力を育成し、グローバル社会で活躍する人間を輩出します。

目標Ⅲ 生徒の育成を担う教員の資質・能力と学校の経営力の向上

プロ意識を涵養し、高い専門性と優れた指導力を備えた教員を育て、校長のリーダーシップのもと一丸となって生徒を育成する学校にします。

目標Ⅳ 生徒一人一人の能力を最大限に伸ばす学校づくりの推進

課程、学科やタイプに応じ、生徒の能力を伸ばす教育実践の場を提供します。

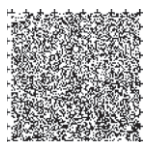


目標Ⅴ 質の高い教育を支える教育諸条件の整備

入学者選抜制度の改善、ICT環境の充実、施設・設備の整備、就学機会の提供など、質の高い教育を支える様々な条件を着実に整備します。

平成24年度から33年度までの10年間の計画期間で、都民の皆さんの期待に応える都立高校へ、更なる改革を進めていきます。

→ 平成24年度に実施する主な事業を、上の「平成24年度 東京都教育委員会の主要事業」の「都立高校改革の新たな展開」でご紹介しています。



育委員会の主要事業

東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画の実現

都内公立小学校の特別支援教室の設置に向けたモデル地区を指定し、モデル事業を実施します。また、都立高校に在籍する特別な支援を必要とする生徒に対し、適切な指導と支援を実現していくため、特別支援教育体制整備に関するモデル事業も実施します。

防災教育の充実

外部有識者、防災関係者等で構成する「学校防災教育推進委員会」で、東京都の防災教育の在り方等を検討します。また、特に防災教育を推進していく都立高校に、都立高校防災活動支援隊を結成し、防災活動への参画等を通じて都立高校生の社会貢献意識を育て、自ら進んで防災活動やボランティア活動に参加しようとする人材を育成します。



視点3 子供・若者の未来を応援する

公立小・中学校児童・生徒の「確かな学力」の定着と伸長

都内公立学校の小5・中2の全児童・生徒を対象に、都独自の学力調査を実施します。また、理数教育の振興を図るため、「東京都理数教育振興施策検討委員会」を設置し、理数教育振興研究協力校を指定します。



都立高校学力向上開拓推進事業および進学対策

全ての都立高校において、「学力向上推進プラン」に基づく授業改善を実施し、学力向上に向けた組織的な取組を推進します。また、都独自の大学入試問題分析集の作成や、外部人材を活用した自主学習支援により、都立高校生の学力向上を図ります。

言語能力向上推進事業

学習指導要領改訂の趣旨である児童・生徒の言語能力の向上を図るため、推進校を増やします。また、都立高校生言葉の祭典（仮称）を実施します。



体力向上施策の推進

「東京都体力・運動能力、生活・運動習慣等調査（東京都統一体力テスト）」を都内公立学校の全学年で実施します。また、小・中学生が取り組むべき「学年別体力向上プログラム」を作成し、体力向上を推進するほか、民間団体・企業等による「東京都子供の体力向上応援団」を結成して子供たちの体力づくりを支援します。

道徳教育の充実

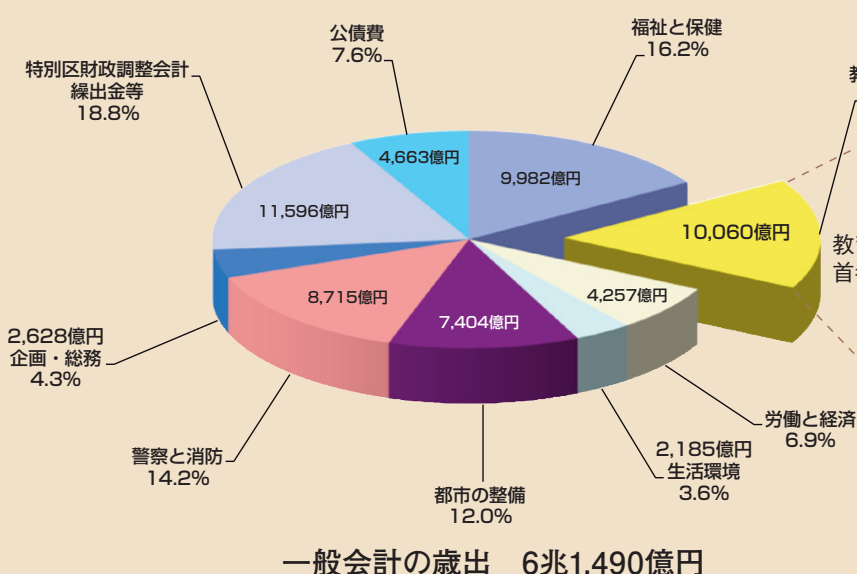
規範意識や思いやりなど、子供たちの豊かな心を育成するため、都独自の道徳教育教材集（小学校低・中・高学年版、中学生版の4分冊）を作成し、都内公立小・中学校等の全ての児童・生徒へ配布します。また、都立高校生の心を育てる都独自の道徳教育教材集を開発します。

平成24年度 主要事業予算 計 710億9,400万円

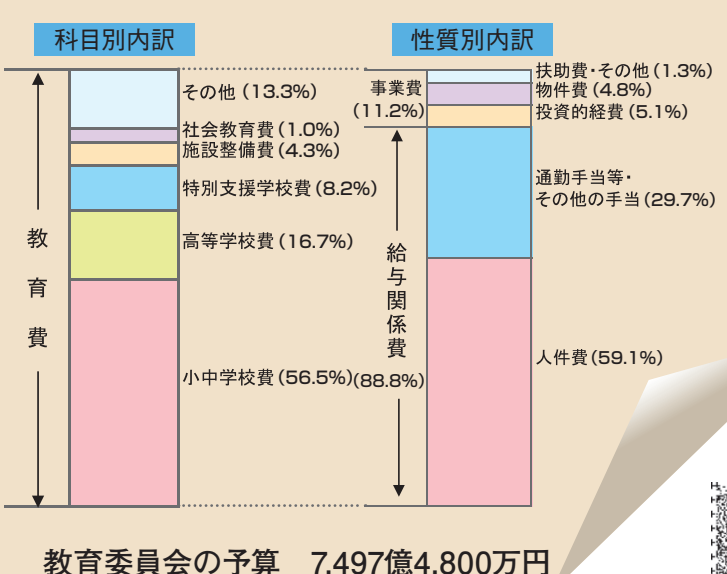
平成24年度 教育予算と都の一般会計

平成24年度の教育委員会の予算総額は7,497億4,800万円で、都の一般会計予算6兆1,490億円の約12.2%を占めています。

都の一般会計予算に占める割合



教育委員会予算の内訳



教育委員会の動き ～平成23年12月から平成24年1月までの活動について～

1 教育委員会の開催状況

平成23年12月から平成24年1月までに、3回の定例会及び1回の臨時会を開催し、13件の議案と9件の報告について、審議等を行いました。その中から主なものをご紹介します。

- 【議案】
- 東京都立学校設置条例の一部を改正する条例の立案依頼外1件について
 - 東京都立図書館条例の一部を改正する条例の立案依頼について
 - 入学式、卒業式等における国旗掲揚及び国歌斉唱について
 - 東京都公立小学校、中学校及び中等教育学校前期課程の学級編制基準の一部改正について

- 【報告】
- 第3回中学生「東京駅伝」大会の開催について
 - 『“がんばろう 日本” 節電 アクション月間』の実施結果について
 - 東京都教育委員会児童・生徒等表彰について
 - 平成23年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について
 - 小・中学校版防災教育補助教材「3.11を忘れない」の配布等について
 - 教科書『江戸から東京へ』の改訂について

2 その他の活動

- 都内の文化財修復現場の視察を行いました。(内館委員・瀬古委員)
- 学校訪問を行いました。
 - 晴海総合高等学校(川淵委員)
 - 千代田区立富士見小学校(瀬古委員)
- 都立学校の周年行事に出席しました。
 - 七生特別支援学校(瀬古委員)



12月19日 文化財修復現場視察



12月20日 都立晴海総合高等学校

教育委員会は、原則として毎月第2・第4木曜日に開催しています。開催状況・会議録は東京都教育委員会ホームページに掲載しています。



4月23日は「子ども読書の日」です。科学の本、ノンフィクションの本を読みませんか。

中学生になると、家族で共有できる本が少なくなります。そんなとき、科学の本は、年齢に関係なく、みんなで楽しむことができます。

科学の本は読書力に応じた様々な本があります

写真やイラストの豊富な親しみやすい本から、しっかりと読み通して楽しむ本まで、バラエティに富んでいます。読書が苦手というお子さんには、まず写真やイラストの多い本を勧めてはいかがでしょうか。

科学の本は幅広い興味に応えてくれます

目に見えない微生物から地球上最大のシロナガスクジラまで。また、身近に見られる原理から最先端の宇宙開発の話まであらゆるジャンルを取り上げています。好きな分野から読み始めましょう。

本には個性や独創性があり、読者の好みに応えてくれます

一つのテーマでも様々な視点や描き方があり、時には著者の人間性に触れることもできます。

都立図書館「青少年のページ」<http://www.library.metro.tokyo.jp/>
トップページ ⇒ 都立多摩図書館利用案内 ⇒ 館内案内 ⇒ 青少年エリア

多摩図書館からのおすすめ本

テーマ「地球を共有する仲間たち」



『クジラ 大海をめぐる巨人を追って』 水口博也 著 金の星社 2004年
世界中を回遊する勇壮なクジラを追って大海の旅に出よう。かつて生きた恐竜より大きいクジラもいる。

『水草の森・プランクトンのえほん』 今森洋輔 絵・文 岩崎書店 2010年
食物連鎖の最底辺にいるプランクトンはどうしてこんなに美しいのだろう。その生態も不思議に満ちている。

『オホーツクの十二か月 森の獣医のナチュラルリスト日記』 竹田津実著 福音館書店 2006年
傷ついた様々な野生動物との出会いは、地球に生きる仲間が愛らしく、たくましく気高いものだということを感じさせてくれる。



『絵で見るある町の歴史 タイムトラベラーと旅する12,000年』 ステイプ・ヌーン 絵 アン・ミラード 文 松沢あさか・高岡メルヘンの会訳 さ・えら書房 2000年
我々人間が川のほとりに住み始めたのは紀元前10000年。それから現代まで、12,000年間の生活が細かく描かれた絵本。見れば見るほど発見が。

『森へ』 星野道夫 文・写真 福音館書店 1996年
北米の原生林、苔むした巨木。川の流れから踊りだす魚。早世した写真家にとらえた一瞬。



話してみよう あなたの心配 ～東京都教育相談センターの御案内～

子育ての悩みや不安、いじめ、不登校など

電話 03(5800)8008
ホームページ <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>
平日 午前9時から午後9時まで 土日祝 午前9時から午後5時まで(年末年始等を除く。)
※上記以外及び閉庁日は、留守番電話及び電子メールによる対応をしています。
メールはホームページからご利用ください。



いじめ相談ホットライン

電話 03(5800)8288
(24時間受付)

外国人児童・生徒相談

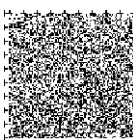
電話 03(5800)8008
毎週金曜日午後1時から午後4時まで、中国語、英語、韓国・朝鮮語での相談も可能です。
※電話による予約で来所の相談も受け付けています。

進路相談会(前期)

進路についての情報や助言を得にくい状況にある生徒や保護者の皆さんに対し、適切な進路選択ができるよう応援します！

- 第1回 平成24年7月28日(土) 東京都多摩教育センター(立川)
- 第2回 平成24年8月11日(土) 東京都教職員研修センター(水道橋)

東京都教育相談センター 〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目3番3号
<http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/> 電話 03-5800-8545(代表) ファクシミリ 03-5800-8402



ときょうの教育 第97号 平成24年4月1日発行
編集・発行 東京都教育庁総務部教育情報課 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)6733 ファクシミリ 03(5388)1726
デザイン・印刷 株式会社 イーパワー

ぴあすぼ

“ぴあすぼ”は、非行等の悩みや問題から立ち直ろうとしている少年に安心できる居場所と寄り添うサポーターを提供し、少年たちを支えています。



ぴあすぼ 専用電話 0570-06-8984

受付時間 9:00~18:00 祝日・年末年始を除く月~金曜日

非行などさまざまな悩みや問題を抱える少年を中心に、中学生から20歳前後までの男子・女子を対象としています。

相談は、少年本人、保護者、親戚等、どなたでも受けられます。利用は原則、無料です。ひとりで悩まず、まずはお電話ください。

生活自立支援

“ぴあすぼ”で、
自分探し!
自己発見!
自己実現!

就学支援

就労支援

保護者の皆さまへ

“ぴあすぼ”は子供の居場所です。親が変わると、子供は変わっていきます。親が変わるには、親の気持ちを受け止め、いっしょに子供を理解する支え手が必要です。“ぴあすぼ”では、保護者の皆様のご相談にも対応していきます。

東京都青少年・治安対策本部青少年課 03(5388)3172